

お知らせ

- I. MATLAB のレベルアップについて
- II. 「先端的大規模計算シミュレーションプログラム利用サービス」開始のお知らせ
- III. LS-DYNA のレベルアップについて

I. MATLAB のレベルアップについて

対話型数値解析ソフトウェア MATLAB が、8月15日（水）より、最新の R2007a にバージョンアップしました。

詳しくは、次の URL を参照してください。

<http://www.cybernet.co.jp/matlab/products/release/r2007a.shtml>

(以上「速報」No.65-19.8.24 発行)

II. 「先端的大規模計算シミュレーションプログラム利用サービス」開始のお知らせ

「先端的大規模計算シミュレーションプログラム利用サービス」は、文部科学省が平成 19 年度に新設した「先端研究施設共用イノベーション創出事業」の「産業戦略利用」プログラムとして採択されたもので、全国共同利用施設としての情報基盤センター群（北大、東北大、東大、京大、大阪大、九大、本学）と東京工業大学が、社会貢献の一環として、各大学が開発した応用ソフトウェアと各大学が所有するスーパーコンピュータをそれらの利用支援サービスと一体化して民間企業に提供し、イノベーション創出を支援するものです。現在、企業では、幅広い分野で計算シミュレーションが利用されており、大学では、こうした企業の計算機利用を「戦略分野利用推進」及び「新規利用拡大」の観点から支援していきます。戦略分野利用推進としては、ライフサイエンス、ものづくり技術、情報通信、環境エネルギー、社会基盤分野を対象に、大学で開発された RSS21 等の先端的シミュレーションソフトウェアとスーパーコンピュータの利用課題を民間企業から募り、「新規利用拡大」としては、企業が有するアプリケーションを利用した課題、新規アプリケーションを開発する課題を募り、企業によるイノベーション創出を支援します。特に、本学では、ものづくり分野の中のソフトマテリアル統合シミュレータ OCTA を提供します。平成 19 年度に各機関が提供する計算機資源は下の表の通りです。

なお本サービスによるジョブは優先的に処理される場合があります。一般の利用者の方にはご理解とご協力をお願いいたします。

機関名	システム	ノード数 (CPU 数)	性能 (TFlops)	総マシンタイム に対する割合
北大	SR1100/K1	2(32)	0.268	4.96%
	PC クラスタ	30(60)	0.1875	37.5%
東北大	SX-7	1(32)	0.282	4%
	SX-7C	5(40)	0.64	4%
	TX7/i9610	1(64)	0.409	0%
東大	SR11000/J2	4(64)	0.588	2.00%
	PC クラスタ	32	0.5632	50.00%
名大	HPC2500	2(128)	1.00	7.25%
京大	HPC2500	2(256)	1.60	18.18%
阪大	SX-8	20(160)	5.3	2%
	PC クラスタ A	128(512)	6.1	2%
	PC クラスタ B	496(1984)	18.3	2%
九大	PC クラスタ	48(192)	2.3	12.5%

(以上「速報」No.66-19.9.27 発行)

Ⅲ. LS-DYNA のレベルアップについて

非線形動的構造解析ソフトウェア LS-DYNA が、11月19日(月)より、V970 から V971 にバージョンアップします。単精度版・倍精度版のソルバーが利用できます。

(以上「速報」No.67-19.10.29 発行)